

第40回アウトドアカレッジ（ダム部）

設楽ダムの湖面利用を 考えよう

リバーパークかみやはぎの取り組みについて

令和8年9月16日（水）午後7時～午後8時 道の駅したら

本日の内容

1. 安藤社長のお話
(リバーパークかみやはぎの取り組み)
2. みんなで考えよう
道の駅したら周辺の河川利活用
3. 設楽町からのお知らせ (省略)



1. 安藤社長のお話 (リバーパークかみやはぎの取り組み)

リバーパークかみやはぎの取組

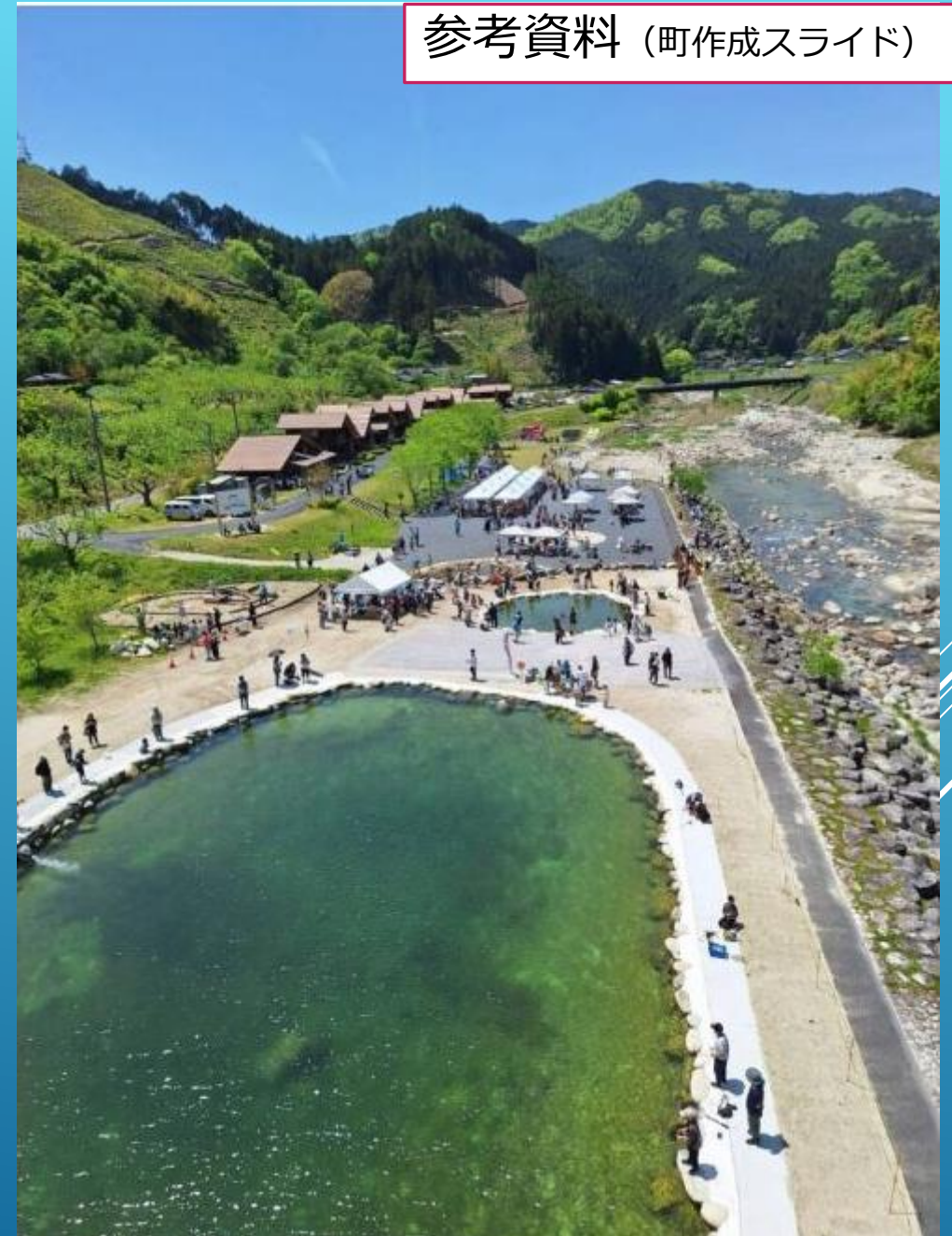
- ・市が当施設の整備に際して「維持管理を地域に任せたい」とのことであったことから、釣りやBBQ、ドッグラン等の利用による収益を維持管理につなげる仕組みを構築した。
- ・施設整備の段階から安藤社長が関わり、実際の管理・運営を見据えた施設づくりを行っている。
- ・「きれいな水が生まれる → 川で人が遊ぶ → 人が集まる → 地域の活力につながる」という考え方

いのちの山プロジェクトについて

- ・ 林業では、戦後に植林されたスギ・ヒノキの大径化や、伐採・再造林の停滞などが課題となっている。
- ・ 「いのちの山プロジェクト」では、モミジ等の広葉樹を植え、企業や地域住民、ボランティアとともに森林再生に取り組んでいる。
- ・ 今後の森林整備の考え方として、木材生産に適した森林は適切に利用し、搬出が難しい奥山等は広葉樹林へ転換していく考え方が紹介された。



令和6年、恵那市の市政20周年を記念して整備が決められた地域公園。釣り堀や足湯、BBQトランポリンなどが設置されています。



リバーパークかみやはぎ 施設概要

1 施設概要

施設の場所：岐阜県恵那市上矢作町、上村川河川敷

開設時期：令和7年7月グランドオープン

運営団体：株式会社安藤林業

2 施設の主な機能

エサ釣り・ルアーフィッシングエリア、バーベキュー施設、
水遊び・魚のつかみ取り（季節限定）、ドッグラン、芝生広場、
足湯、ラジコンコース、魚焼きスペース、
RV・車中泊エリア（整備中）、越沢コテージ（別会社が運営）

PARK MAP

園内マップ

参考資料（町作成スライド）



リバーパークかみやはぎの各種施設紹介

足湯



BBQエリア



ルアー釣りエリア



エサ釣りエリア



芝生エリア



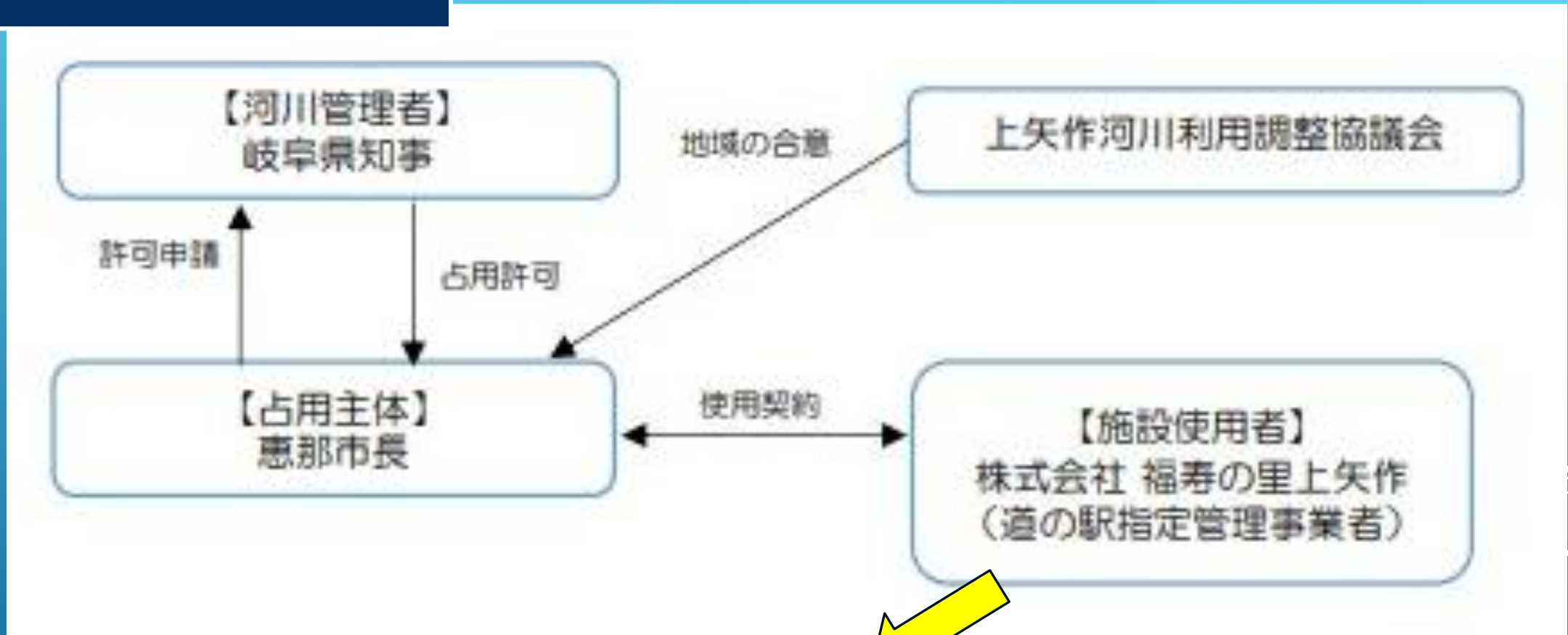
魚つかみ取りエリア



S N S による情報発信の様子



事業スキーム



株式会社 安藤林業

リバーパークの管理・運営

【参考】いのちの山プロジェクト

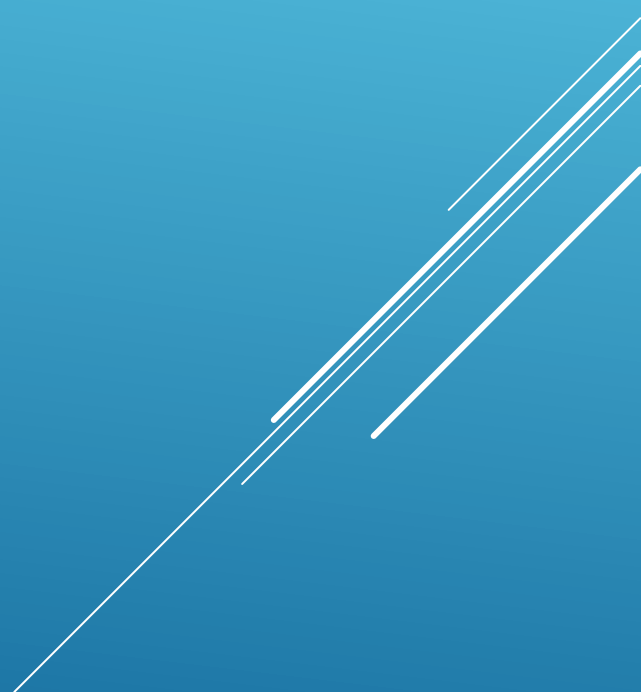
「100年先の森づくり」がテーマ

山主の理解を得ながら、スギやヒノキからモミジやコナラなど広葉樹へ樹種転換する活動を続けています。

現在では多くの仲間が参加し、約1万本を植樹。
子どもたちが自然の中で学び、楽しむ「木育・食育」の体験へと活動が広がっています。



2. みんなで考えよう 道の駅したら周辺の河川利活用 (質問・意見交換)



安藤社長が考える 寒狭川 旧貯木場の 利活用方法とは



道の駅したら周辺への提案

旧貯木場等を活用し、林業を学ぶ人材育成・交流拠点

→ 地域材を加工・利用し、地域の仕事や雇用につなげる仕組みづくり。

川辺で食事ができるテラスやキャンプなど、川を身近に楽しめる空間

→ 海外の事例として「河川サーフィン」を紹介。特徴的なアクティビティによる交流人口の拡大や移住への波及可能性。

「山を整備する → 人を育てる → 木を使う

→ 仕事生まれる → 人が訪れる → 川や自然を楽しむ」

という地域内の循環

参加者からの主な意見（1 / 2）

- ・ 川の水量や水温、魚の量などの変化を感じており、川だけでなく上流の森林環境から考える必要がある。
- ・ 水を利用する下流地域にも、水源地域の森林や、それを守る人々の取組を知ってもらうことが大切。
- ・ 森林の重要性を子どもたちへ伝えることの大切さを感じる一方で、実際の森林整備をだれが中心となり取り組むのかということが課題だと感じた。（「サーラの森」の取り組みに関する情報提供あり）

参加者からの主な意見（2 / 2）

- ・道の駅したら周辺では、既に夏季を中心に親子連れが川を利用して賑わいが創出されている。現在の使われ方も踏まえた活用を考えたい。
- ・「何をつくるか」から考えるのではなく、「どのような地域を将来につなげたいか」という考え方を共有することが重要。
- ・施設を整備するだけでなく、利用による収益を維持管理につなげ、次世代まで続く仕組みを考える必要性を感じた。

寒狭川エリア

現在、愛知県において約500メートルの護岸を整備中。
（左岸（道の駅側）は整備済み）



旧貯木場エリア

約1.3haの土地
過去のアウトドアカレッジでは

国道側 賑わいゾーン
（商業・駐車場・温浴施設）
中央 活動・交流ゾーン
（広場・公園・イベントスペース）
奥側 自然・静けさゾーン
（ドッグラン・アスレチックなど）

といったゾーニングを検討している。

